

2020  
12



コレクション展Ⅱ【特集】「視覚遊戯－美術と目の楽しいカンケイ－」展関連

## 「おやこ鑑賞会」

■開催日時：2020年12月12日（土）  
10：30～12：00

■参加者：子ども3名、大人3名

■対象：小学生～高校生とその保護者

■参加費：無料（保護者の方は観覧料500円）

■場所：レクチャールーム、常設展示室

### ■概要

今回のコレクション展Ⅱは、昨年度新たに当館コレクションに加わった作品を中心に、美術鑑賞における視覚の働きに注目した展覧会です。多彩なテーマから取り上げた展示作品をおやこで鑑賞し、お気に入りの作品を見つけたり、発見したりしたことを発表しました。

### ■1 オリエンテーション

—小野学芸員によるレクチャー

最初に、展覧会担当の小野学芸員が解説を行いました。展示作品の中から何点か選んで、以下のように見どころを紹介しました。

白髪一雄《天間星雲龍》→足で描いているよ。足の指の跡が残っているね。

エドワード・ラッシャ《びっくりした》→作品の中心に「I'm Amazed」（びっくりした）とあります。いったい何にびっくりしたのかな？



### ■こどもの感想

- ・いろいろなえがおもしろい。
- ・いろんなかき方があっておもしろかった。
- ・少し読みとるのがむずかしい作品もありました。

※今回のこどものイベントは、人数を制限するなど密が生じないプログラムを計画した上で、当日対応するスタッフも新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて実施しました。

### ■保護者の感想

- ・イベントを開催して頂き、ありがとうございました。

### ■2 鑑賞活動①

ミュージアムティーチャーからワークシートの説明と鑑賞のマナーを聞いて展示室へ出発！

展示室には、平面なのに立体のように見える作品や、絵画と写真を組み合わせた作品など、さまざまな素材や方法で表現された作品が展示されています。さて、お気に入りの作品に出会うことができるかな？



### ■4 ふりかえり①

おやこでの鑑賞活動の後は、レクチャールームに戻って、みんなでふりかえりをしました。まず、お気に入りの作品について、「よく見ると、虫がたくさん描かれていた」「絵かなと思ったら写真だった」「キラキラしていて、デパートのショーウィンドーのようだ」など、気づいたことや感じたことを発表してくれました。



### ■まとめ

作品を見る時の目の働きについて改めて考えようというコンセプトのもとお届けした今回の展覧会。昨年度に当館に収蔵した新しいコレクションの仲間をお披露目する機会でもありました。画面が膨らんでいたり、デコボコしていたり、平らなのにとび出しているように見えたりと、普通の絵画や彫刻とは少し様子の異なる作品が集ったので、小さなお子様から大人の方まで興味を持って頂きやすかったのではないのでしょうか。作品を鑑賞した後に参加された皆さんから様々な気づきを挙げて頂き、とても有意義なイベントになりました。

(小野学芸員)



### ■3 鑑賞活動②

今回のイベントでは、密の状態をつくらないように、おやこごとに鑑賞してもらいました。それぞれの作品を細部までじっくりと見つめたり、キャプションを読んだり、気になる作品をもう一度見直したり、各自のペースで鑑賞しました。



### ■5 ふりかえり②

次に、ワークシートで取り上げた作品についても発表してもらいました。和紙の原料のこうぞを使った作品についてどんな触り心地を想像したか聞くと、「木を使っているの、木の手触りがするみたい」と、教えてくれました。名画のリンゴやオレンジに扮した作者自身が登場する作品について、「どれも顔が同じ」と気づいてくれました。みんなに発表してもらった後、それぞれの作品について小野学芸員が解説しました。これからは色や形だけではなく、細部までじっくり見たり、何かを想像しながら見たり、見方を広げてさまざまなことを発見してくださいね。